

「シュリー・グル・ギター」—— 一つの必要不可欠な教典

バーバ・ムクターナンダ

シッダ・ヨーガの道でスワーディヤーヤとして朗唱されるさまざまな神聖な教典の中でも、バーバ・ムクターナンダはとりわけ「シュリー・グル・ギター」の力と価値を称賛し、「一つの必要不可欠な教典」と呼んでいます。『ネクター・オブ・チャンティング』の序文の中で、バーバは、探究者がこの「グルの歌」を朗唱する規則的な修行から得られる計り知れない恩恵について説明しています。

以下はバーバによる序文からの抜粋で、あなたが自分自身の「シュリー・グル・ギター」の朗唱の修行のために熟考し、知識や洞察を引き出すためのものです。

人間が切望する至高で永続的な幸福は、内側の純粹さの中にのみ存在する。スワーディヤーヤは内側の存在を養う内面的な強壯剤であり、精神的な強さを授け、マインドと心を浄化する。身体を衣服や装飾品で着飾り、健康を維持するために運動するのと同じように、人は内側の精神的な身体の世話をし、その高潔な傾向と美しさを発達させるべきである…

誰かが私に一つの必要不可欠な教典は何かと尋ねるなら、私は「シュリー・グル・ギター」と答える。これは極めて神聖なものなので、無知な者を教養ある者にし、貧しい者を裕福にし、学者を完全な実現に導く。「シュリー・グル・ギター」はシヴァの崇高な歌、救済の歌である。それはこの世界の真の至福の海である。それは絶対なる者の科学、大いなる自己のヨーガを包括する。それは命に活力をもたらす。それは調和的な構成であり、多様な節のパターンからなる 182 のス

タンザが、グルへの献身の重要性、グルの役割、グルの本質、グルの際立つ特性を美しく描写している。グルに献身的な人がこの歌を歌えば、その人はすべての力、気づき、知識を楽に獲得し、ヨーガの目的を達成することができる。

ヨーギたちの究極の目標であり、その本質が存在、大いなる意識、至福である偉大な神シヴァの、最愛の配偶者であるパールヴァティー、すなわち永遠に若いウマーあるいはクンドリニーが、彼女が最も敬愛する神に「シュリー・グル・ギーター」の秘密を尋ねた時、神はそれが精神的な解放だけでなく世俗的な充足をも与えると答えた。

真実は、グルへの献身に完全に没頭している純粋で高貴な存在、そしてグルと自分自身を同一視することでグルを崇める者のみが、「シュリー・グル・ギーター」をテーマに書くことができるということだ。「シュリー・グル・ギーター」の神秘は、牛にヴェーダのマントラを唱えさせたり、グルへの献身の力と栄光により石壁を動かしたり、自分自身が教師の中の教師であるにもかかわらず常にグルを褒めたたえていたニャーネーシュワルのような聖人にしか理解できない。決してグルを褒めたたえることに疲れず、そのグルへの献身にハリ神が非常に喜び彼のために水を引くほど、すべてのグルの信奉者の宝冠のようなエークナート・マハーラージのような存在だけが、「シュリー・グル・ギーター」の栄華を的確に引き出すことができる。

誰かが私に人生に意味を与えるものは何かと尋ねるなら、「私のグルの名前」とだけ言う。私はグルの恩恵により自分の内側のすべてを発見した。バガヴァーン・シュリー・ニッティヤーナンダは完璧なグルだった。彼の根本的な教えは、「心はすべての聖地の中心である。そこへ行き、歩き回りなさい」だった。「シュリー・グル・ギーター」の朗唱によりそのような師を思い出し、崇拝することで、人は神聖になる…

グルへの献身である「シュリー・グル・ギター」は、私の唯一のよりどころである。私はグル・オー
ム、グル・オームと常に繰り返し、「シュリー・グル・ギター」は毎日演奏され、朗唱されている。
グルは私の究極のゴールである。ⁱ



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

ⁱSwami Muktananda, “The Yoga of Reciting Sacred Texts,” *The Nectar of Chanting*, (South Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1984) pp. x, xivxv.